

泉つりん



阿賀野市立笹岡小学校

平成25年10月9日

No.6

ホームページ <http://sasaoka-es.agano.ed.jp/>

心の成長 ～持久走記録会、全校五頭登山から～

校長 本間 正人

金木犀の香りが漂い、清々しい日が続いています。6日には、昨年より1日早く瓢湖でハクチョウが確認され、深まりゆく秋を感じます。

9月27日（金）、学年部ごとに持久走記録会が行われました。子どもたちは、本番に向けて自分のめあてを決めて、体育の時間や20分休みに精一杯練習してきました。その成果が実り、当日は自分の記録を更新した子どもがほとんどでした。しかし、一方で自分の思った通りの記録が出せず、悔しい思いをした子どももいました。自己ベストが出せても出せなくても、精一杯取り組んできたかどうかが大切です。努力は決して無くなることなく、子どもたちの心や体に残り、いつか花開く時が必ず来ます。そのことを全校朝会で子どもたちに話しました。また、当日は、友達を応援する子どもたちがたくさんいたことに感心しました。おかげで、最後まで走り通すことができた、タイムを縮めることができた子どもが大勢いたことと思います。保護者の皆様の応援も子どもたちの励みと自信になりました。ありがとうございました。

10月4日（金）には、天候に恵まれて全校五頭登山を終えることができました。

山頂からは素晴らしいふるさと笹神の景観とともに、遠く佐渡や粟島、日本海に浮かぶ船までも眺めることができました。今年は、出湯コースから、整備されて危険の少ないどんぐりの森コースに変更しました。全員が初めてのコースでしたが、下山後の子どもたちの表情は、班や自分のめあてを達成した充実感に満ちあふれていました。子どもたちにとって大きな財産となったに違いありません。

当校の五頭登山は、低学年も五の峰の頂上まで登ります。それができるのは、三ツ星班の異学年同士で助け合って登るからです。五頭山は、低学年には決して楽な山ではありません。6年生の班長を中心とした高学年が、最初から最後まで低学年を気遣って声をかけたり、リュックを持ってあげたり、手を貸したりしていました。そのおかげで1年生も弱音を吐くことなく最後までがんばりました。毎年の様子から、6年生になったら、低学年の面倒を見ながら登山するという気持ちが育っているようです。

今年も約55名の保護者・地域のボランティア、アクロス山の会、うすゆき山の会、阿賀野市消防署の皆様の支援をいただきました。登山後、「6年生が下学年の面倒をよく見ているのに感心しました。」「子どもたちの最後まで頑張る姿はすばらしい。」「毎年、ボランティアをお願いされるのを楽しみにしています。」などと話してくださいました。毎年の五頭登山で、子どもたちが互いを思いやり、忍耐力を身に付けていくことができるのは、ボランティアの皆様のおかげです。参加協力してくださいました皆様に、心より感謝申し上げます。

持久走記録会と五頭登山で、子どもたち同士の励ましは、途轍もなく大きなエネルギーとなること、目標をもって諦めないで進むことの大切さを痛感しました。大きな行事を終えるたびに、子どもたちの心は大きく成長しています。これからの校内音楽会や笹小まつりも、学級や三ツ星班で心をつなげて取り組んでいけるよう支援していきたいと思えます。